



Pack
23

Ferrari

250 GTO



Ferrari

250 GTO

組み立てガイド

| | | |
|-----------------|------------|-------|
| STAGE 89 | フロアとボディ | P.353 |
| STAGE 90 | プリント基板 | P.357 |
| STAGE 91 | 排気システムのパーツ | P.361 |
| STAGE 92 | シャーシとボディ | P.365 |



フロアとボディ

ボディ後部にいくつかのパーツを加えていく。
バッテリートレイのパーツは次回まで保管しておこう。

89-1



89-2



89-3



89-4



89-6



89-7



89-5

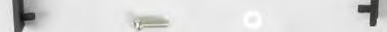


89-8



89-9

89-10



ネジB×15



ネジC×15



ネジL×3



パーツリスト

89-1 バッテリートレイ

89-2 バッテリートレイベース

89-3 カバー

89-4 ショートブラケット

89-5 ロングブラケット

89-6 サポートロッド

89-7 左プレート

89-8 右プレート

89-9 カバーネジ

89-10 ワッシャー

ネジ類

ネジB (P2.3×5 mm) ×15 (1本は予備)

ネジC (M2.3×4 mm) ×15 (1本は予備)

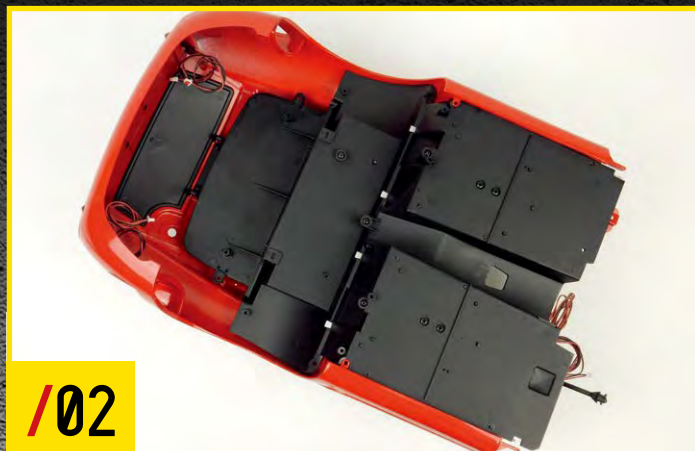
ネジL (P1.8×3 mm) ×3 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。



/01

ボディ後部とフロア部分を用意する。



/02

2つを正しい向きに合わせる。



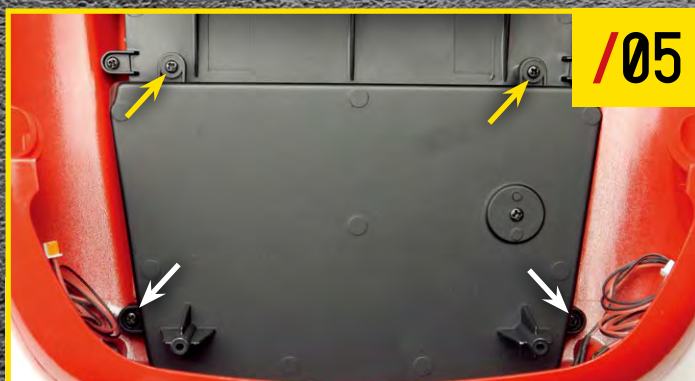
/03

互いにかみ合ったか確認し、オイルフィルターパイプの端をリザーバーの穴に挿入する。



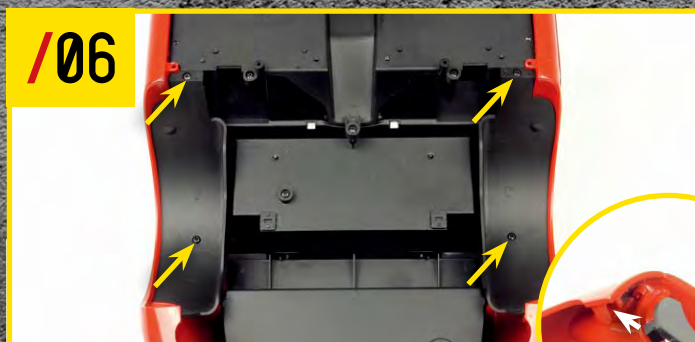
/04

写真の矢印で示された穴に4本のネジCをねじ込み、フロア部分をボディに固定する。



/05

STAGE 25 で組み立てたブーツフレームを所定の位置に取り付ける。タイプ2本のネジBを黄色の矢印に、また2本のネジCを白色の矢印に、それぞれ固定する。



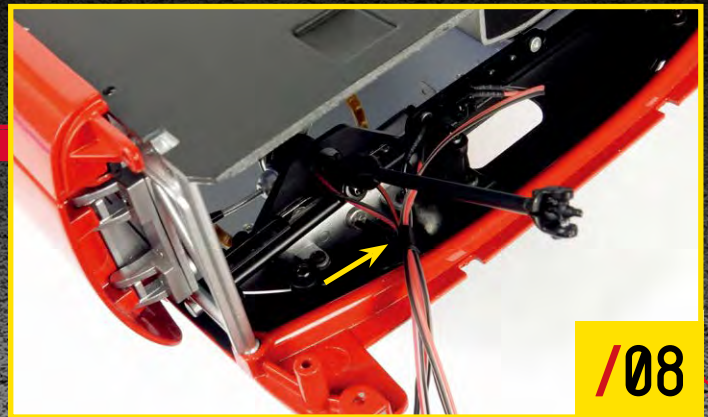
/06

STAGE 88 で保管しておいた2つのホイールアーチ(88-1と88-2)を用意し、写真のようにはめ込む。ホイールアーチのタブを穴に差し込み、4本のネジBでボディに固定する。



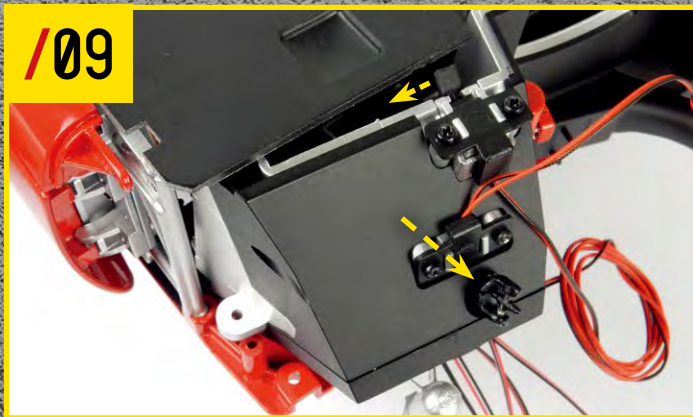
/07

助手席の右側、写真の位置に89-6(サポートロッド)をはめ込む。写真のように向きを合わせる。



/08

次の作業をやすくするために、ダッシュボードから出ているケーブルはテープや結束バンドなどを使ってまとめておくとうい。



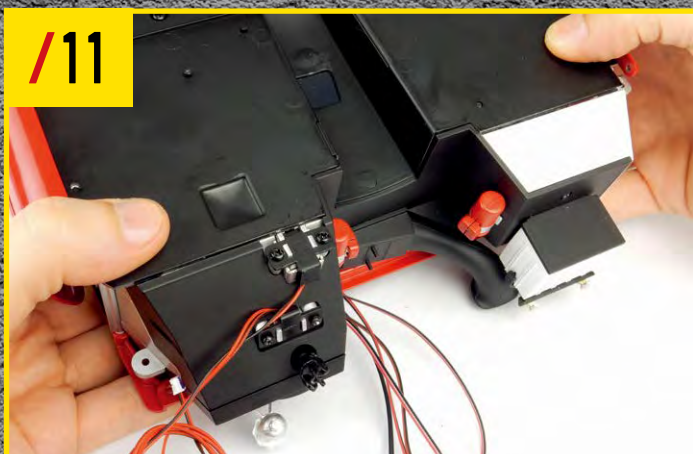
/09

ファイアウォールを用意し、ステアリングコラムが写真で示す穴を通っていることを確認しながら、残りの部分を合わせる。



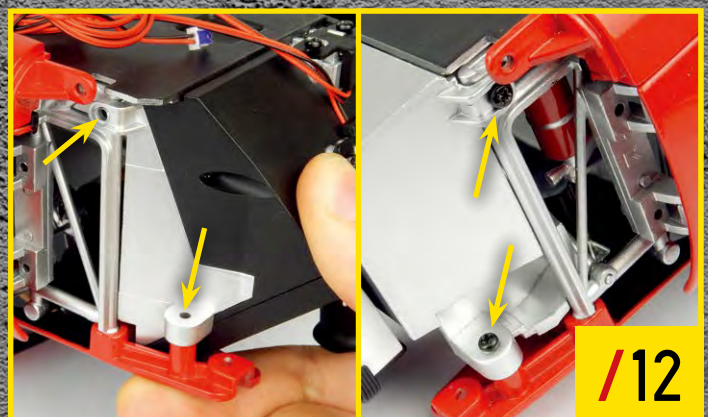
/10

ダッシュボードのケーブルを穴に通す。



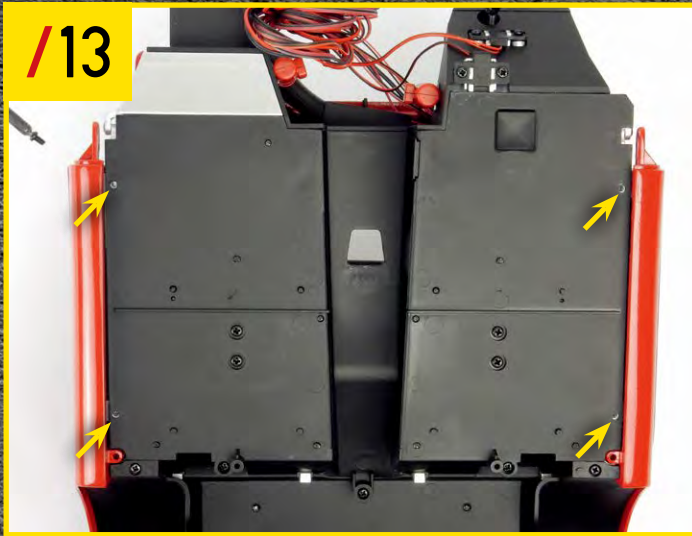
/11

ファイアウォールとフロアがボディの輪郭に合っているか確認する。



/12

ネジ穴が合っていることを確認し、4本のネジC(左右2本ずつ)でファイアウォールをボディに固定する。



さらに、4本のネジCを写真のようにねじ込み、フロアをボディに固定する。



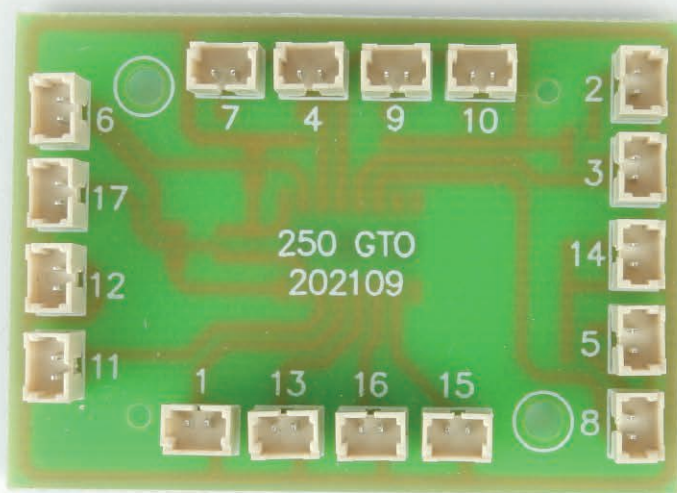
STAGE 09 の完成

ボディの後部がここまで仕上がった。今回使用しなかったパーツとともに大切に保管しておこう。

プリント基板

今回は、STAGE 89で保管しておいたバッテリートレイを組み立て、プリント基板を取り付けていく。

90-1



ネジB×3



パーツリスト

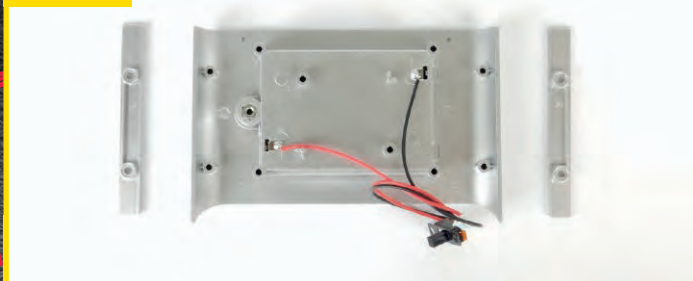
90-1 プリン ト基板

ネジ類

ネジB (P2.3×5 mm) ×3 (1本は予備)

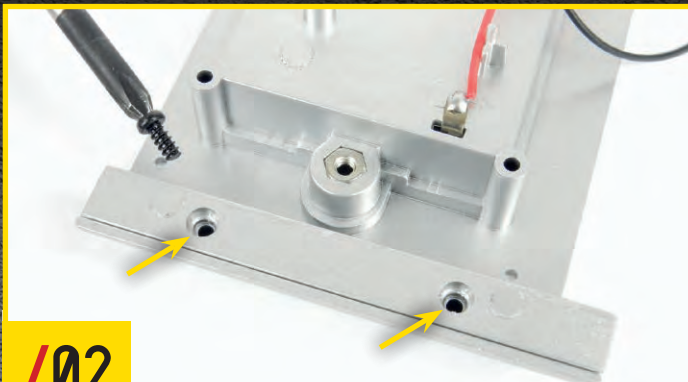
ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



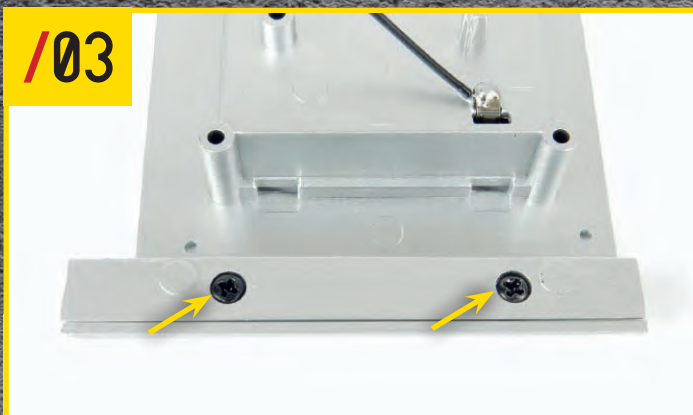
STAGE 00 で保管しておいたパーツとネジを用意する。

/02



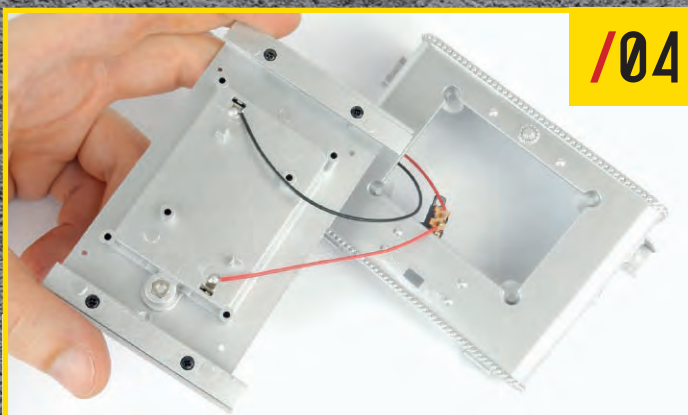
89-7(左プレート。「L」の刻印がある)を写真のように89-1(バッテリートレイ)にはめ込み、2本のネジBで固定する。

/03



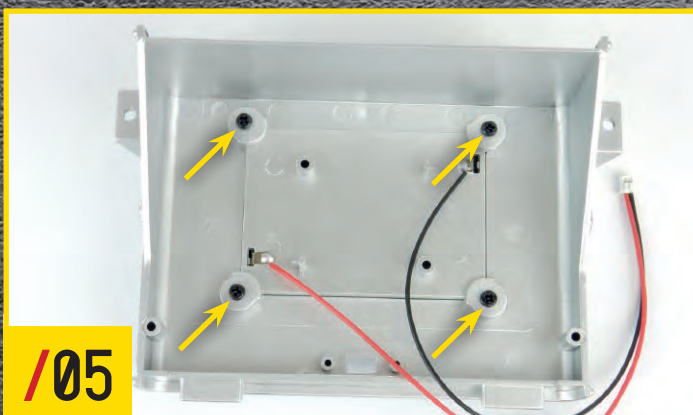
同様に 89-8(右プレート。「R」の刻印がある)を所定の位置にはめ込み、2本のネジBでバッテリートレイに固定する。

/04



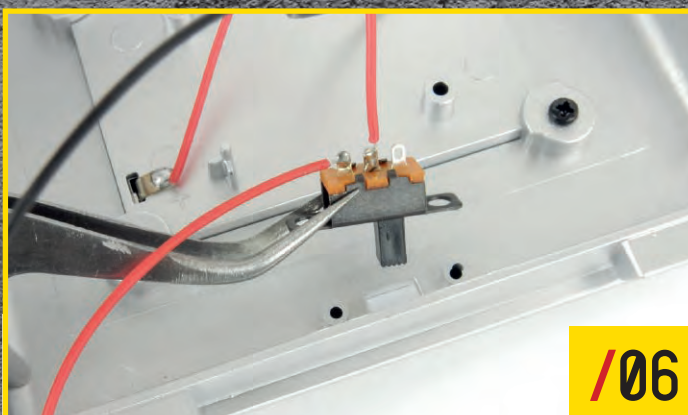
バッテリートレイを89-2(バッテリートレイベース)にはめ込む。写真のように向きを合わせる。

/05

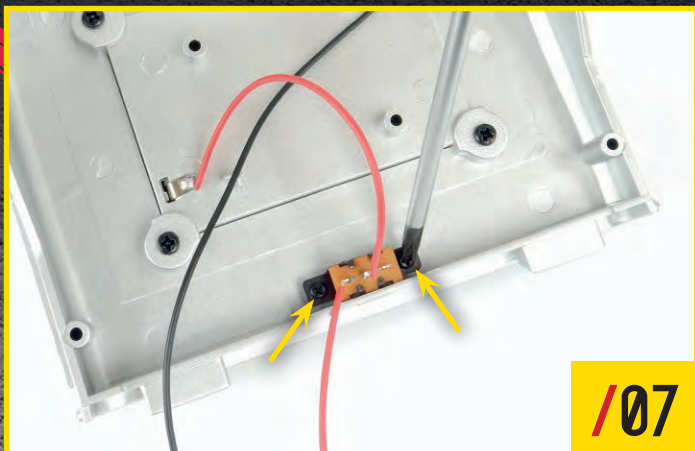


内側から、4本のネジBをそれぞれねじ込み固定する。

/06

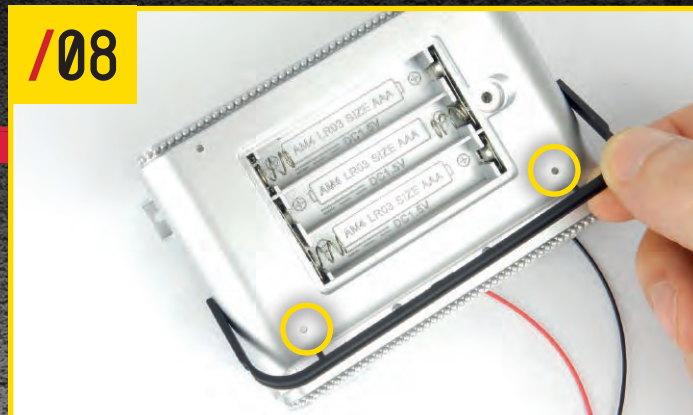


バッテリートレイのケーブルスイッチをスロットにはめ込む。写真のように向きを合わせる。



/07

2本のネジLで、バッテリーレイのベースにスイッチを固定する。



89-4(ショートブラケット)を写真の位置に取り付け、2つのスタッドをバッテリーレイベースの穴に挿入する。



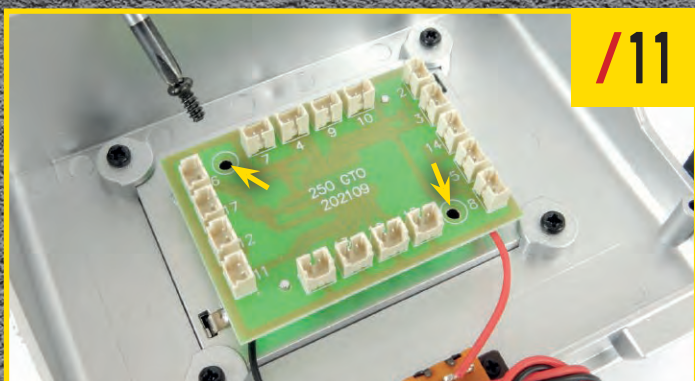
/09

同様に、89-5(ロングブラケット)をバッテリーレイベースの反対側に取り付ける。



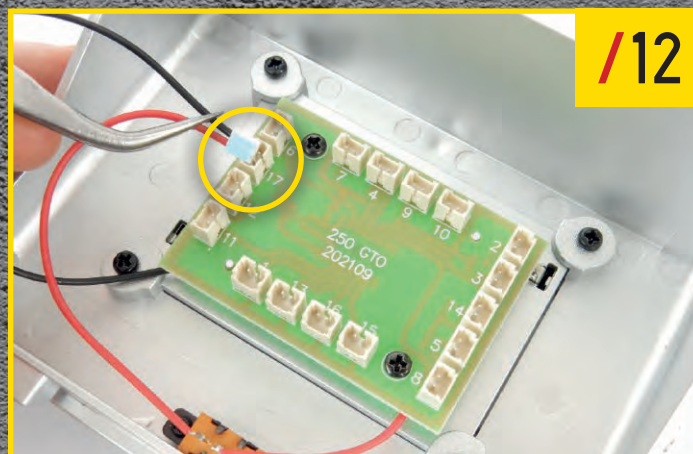
/10

89-3(カバー)を写真のように取り付ける。89-9(カバーネジ)をカバーの穴に差し込み裏面から89-10(ワッシャー)を取り付けて、カバーをバッテリーレイに固定する。



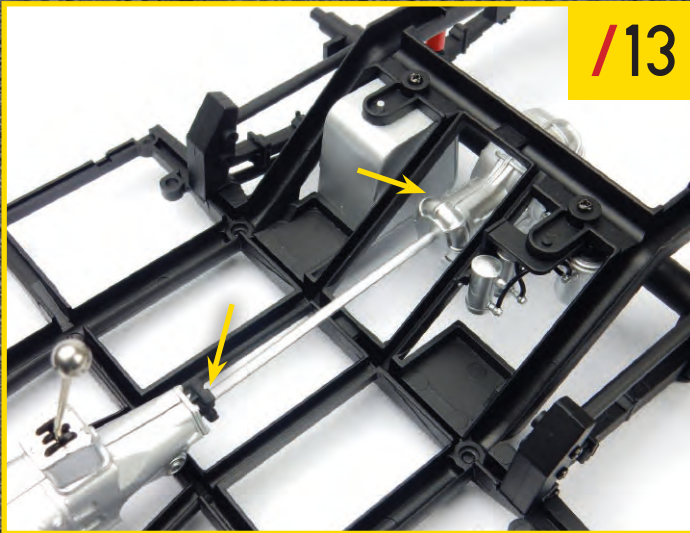
/11

90-1(プリント基板)をバッテリーレイの内側から2本のネジBで固定する。写真のように向きを合わせる。

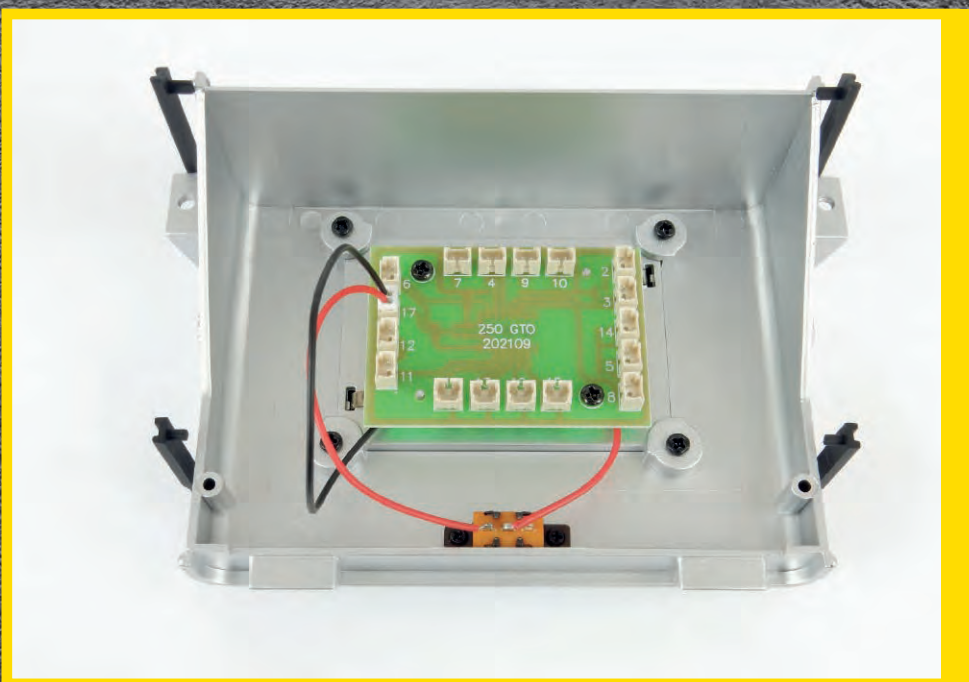


/12

スイッチコネクタをプリント基板のソケット「17」に差し込む。



STAGE 88 で組み立てたカップリング付きロッドを用意する。シャーシにはめ込み、ギアボックスハウジングをディファレンシャルに接続する。



STAGE 89 の完成

バッテリートレイの内側はこんな感じに仕上がった。

排気システムのパーツ

排気システムを組み立てていく。
また、次回に備えてケーブル類も配置する。

ネジM×3



91-1



91-2

91-3

91-4



91-5



91-6



91-7

パーツリスト

- 91-1 リアサイレンサー
- 91-2 センターサイレンサーA
- 91-3 センターサイレンサーB
- 91-4 フロントサイレンサー
- 91-5 左タイロッド

- 91-6 右タイロッド
- 91-7 ターミナルx2

ネジ類

ネジM(P2.3×4 mm)×3 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締められなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

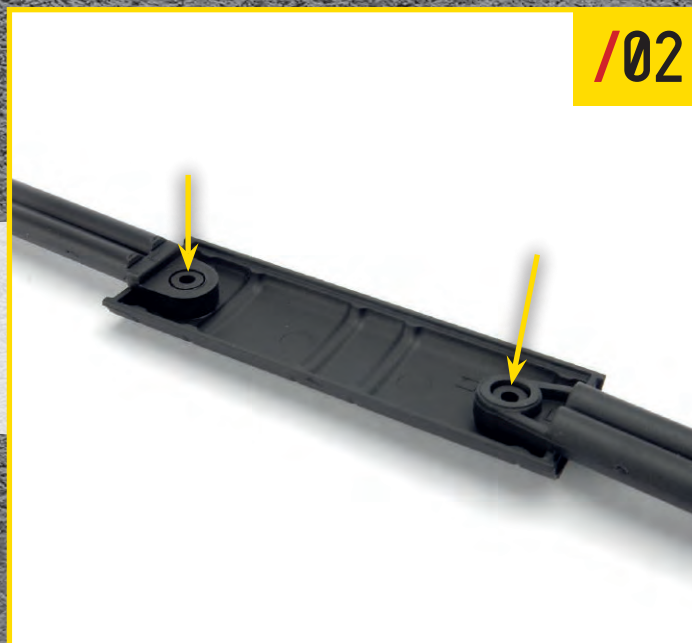
STAGE 01



/01

91-4(フロントサイレンサー)、91-2(センターサイレンサー A。「L1」の刻印がある)、91-1(リアサイレンサー)を用意する。写真のように向きを合わせる。

91-4(フロントサイレンサー)と91-1(リアサイレンサー)の先端にある小さな穴を、91-2(センターサイレンサー A)の盛り上がった穴にスライドさせる。穴はぴったりと合う形状になっている。



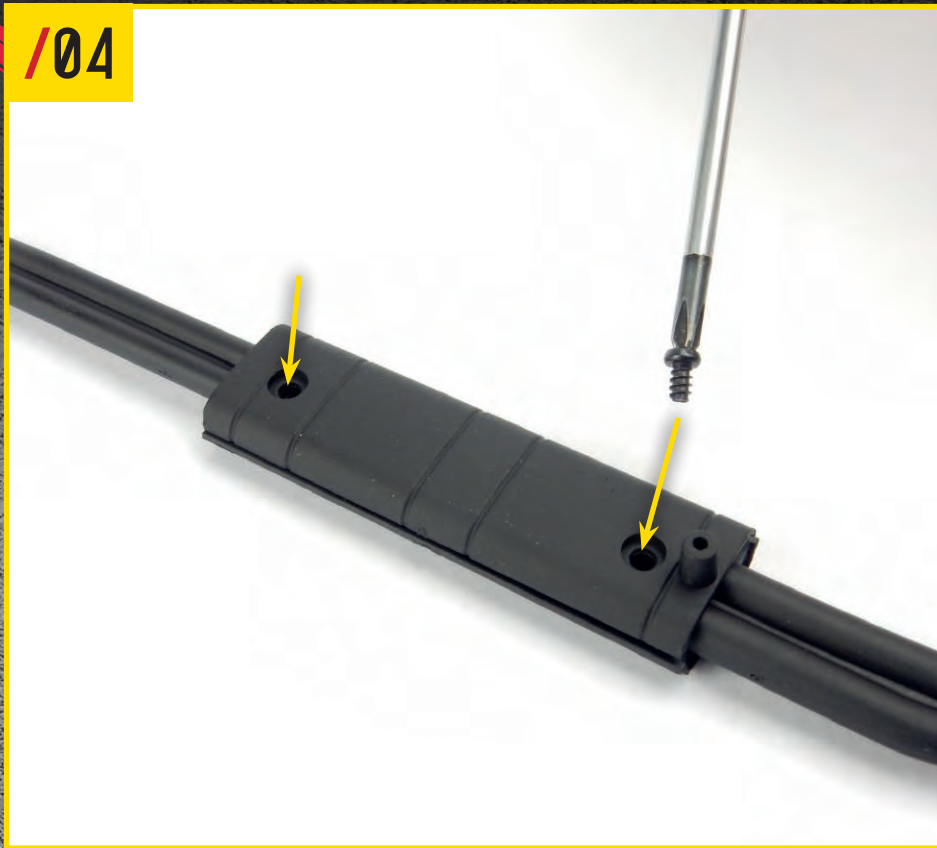
/02

/03



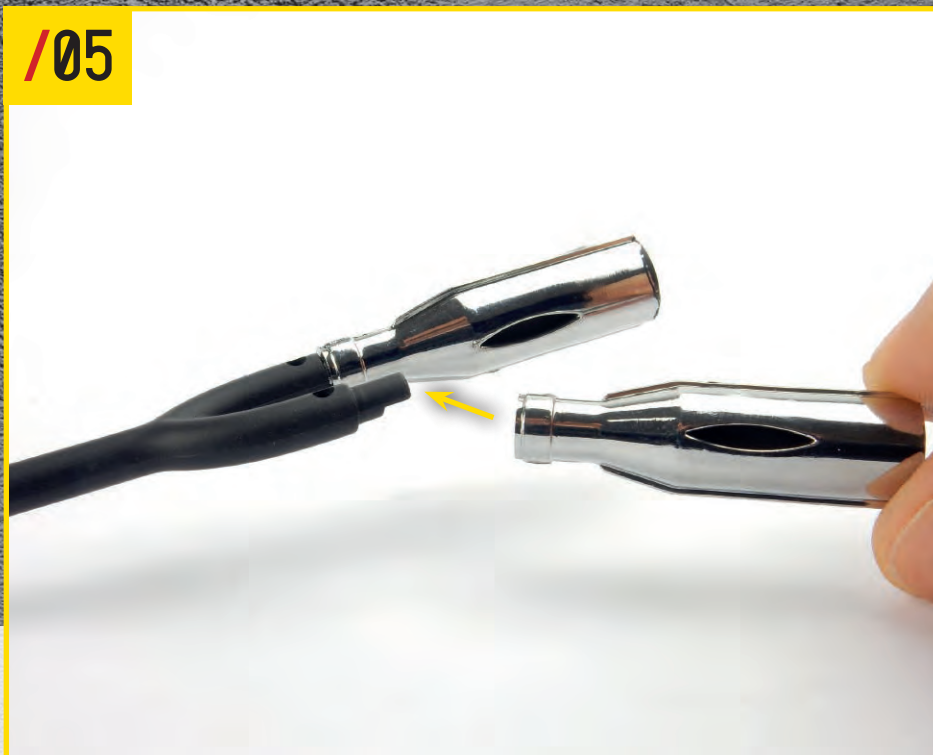
91-3(センターサイレンサーB。「L2」の刻印がある)を写真のように、向きを合わせてかぶせる。

/04

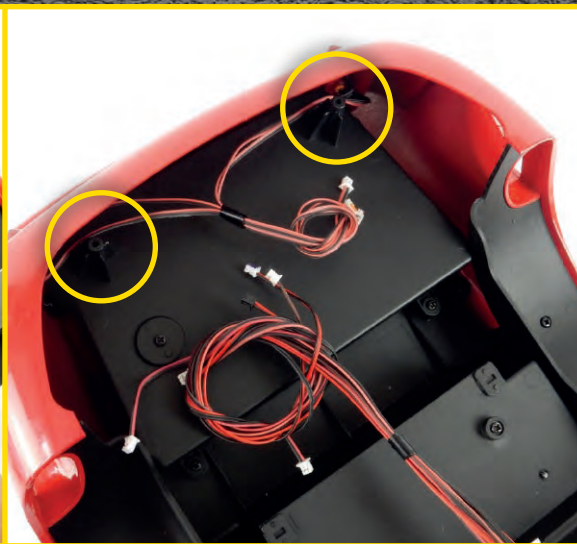


2本のネジM2本で固定する。

/05



91-7(ターミナル)2つをリアサイレンサーの反対側にスライドさせる。



ファイアーウォールから出ているケーブルをボディ後部に伸ばす。写真右で示したようにリアライトのケーブルを並べる。ケーブルはテープなどでまとめておくとうい。



STAGE 01 の完成
排気システムの左側が仕上がった。

シャーシとボディ

排気システムの組み立てを続ける。
また、シャーシとエンジン部分をボディに取り付けていく。



パーツリスト

92-1 リアサイレンサー

92-2 フロントサイレンサー

92-3 センターサイレンサーA

92-4 センターサイレンサーB

92-5 ロッド

92-6 ターミナル ×2

92-7 ケーブルクリップ ×2

92-8 ゴムバンド

92-9 リード ×2

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) × 7
(1本は予備)ネジC (M2.3×4mm) ×3
(1本は予備)ネジM (P2.3×4mm) ×3
(1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



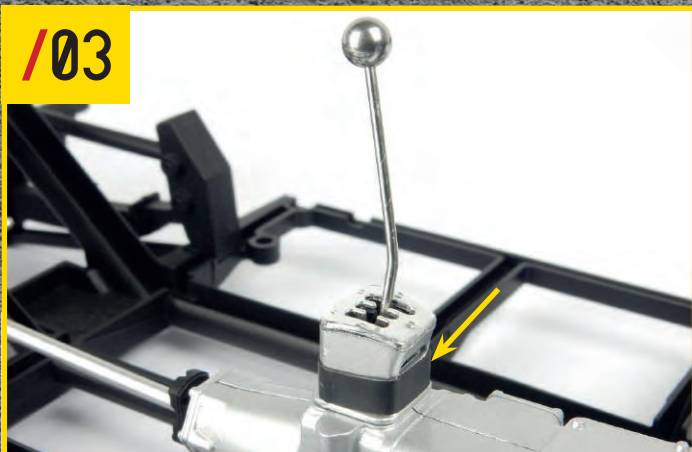
STAGE 01と同様に、排気システムのパーツを組み合わせ、2本のネジMで固定する。92-6(ターミナル)2つをリアサイレンサーの反対側にスライドさせる。

/02



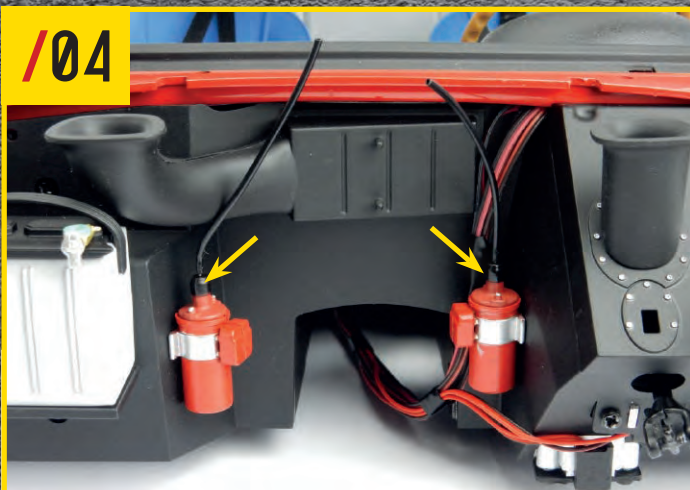
シャーシを用意する。92-7(ケーブルクリップ。角度のついたスタッド(黄色矢印)とまっすぐなスタッド(白色矢印)の2つ)を使って、スピーカーケーブルを左のスプラッシュガードに取り付ける。

/03



92-8(ゴムバンド)をギアボックスまでスライドさせ、根元まで押し下げる。

/04

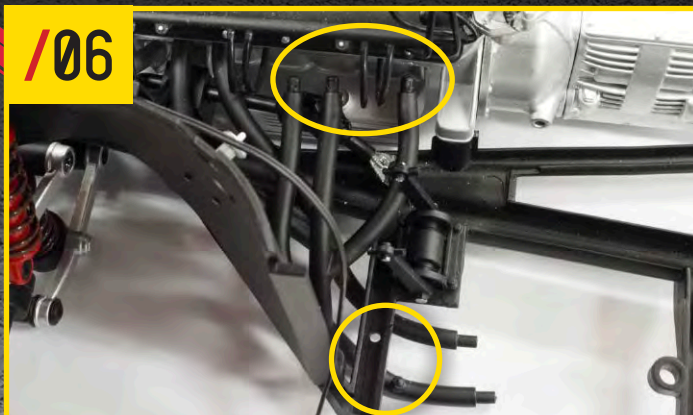


ボディを用意する。2本の92-9(リード)をイグニッションコイルキャップのスタッドに押し込む。

/05



シャーシを用意し、60-1(ステアリングシャフト)と61-3(リア左排気口ホース)の位置関係を確認する。60-1(ステアリングシャフト)の先端が61-3(リア排気口ホース)の一番後ろのホースの下に位置している場合は、次のステップ06、07に従って一番後ろのホースの上にくるようにする。



/06

60-1(ステアリングシャフト)の先端が61-3(リア排気口ホース)の一番後ろのホースの下に位置している場合は、61-3(リア排気口ホース)を一旦取り外す。



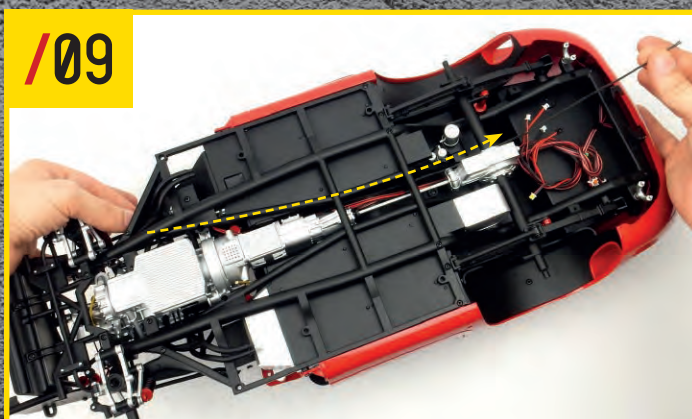
/07

60-1(ステアリングシャフト)の先が61-3(リア排気口ホース)の上にくるようにしてから、61-3(リア排気口ホース)を改めて取り付ける。



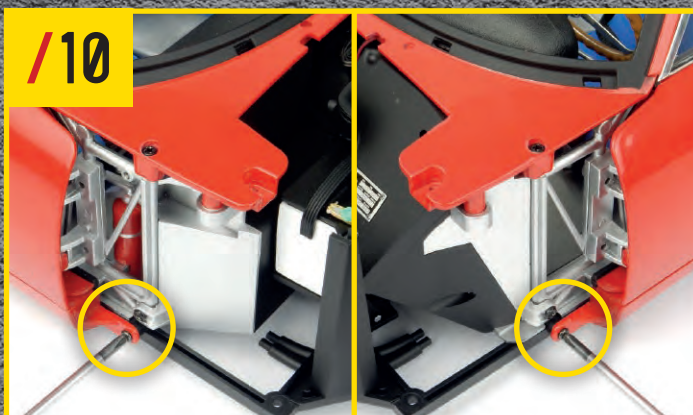
/08

シャーシをボディに取り付ける。4本のネジB(白い矢印)と2本のネジC(黄色い矢印)で固定する。



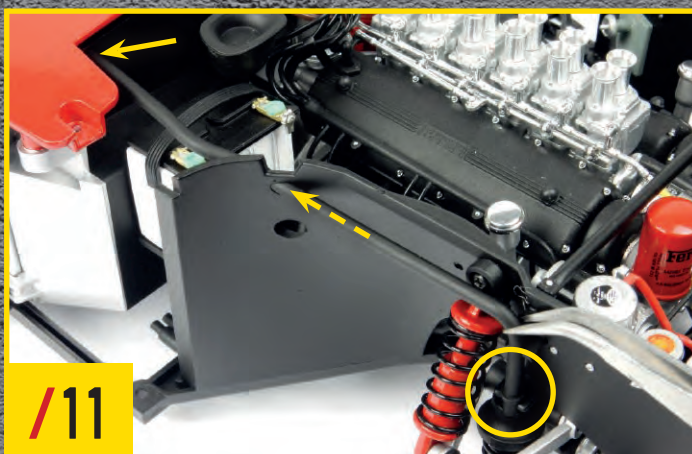
/09

スピーカーケーブルをシャーシの横木の下を通し、ケーブルに達するまで送り込む。



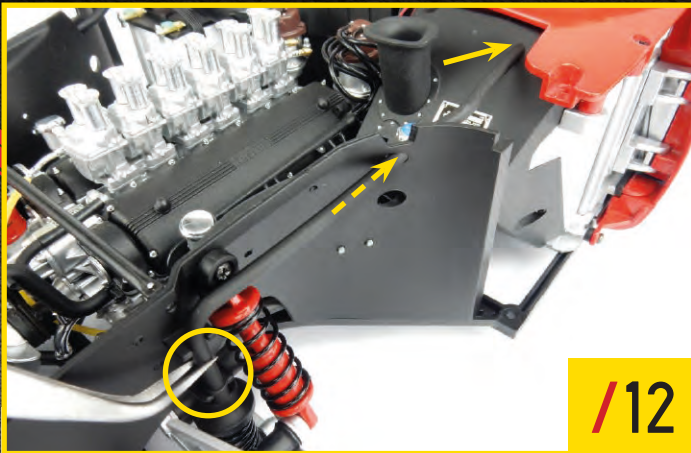
/10

2本のネジBを穴にねじ込み、シャーシをボディに固定する。



/11

写真のように、91-6(右タイロッド)を取り付ける。



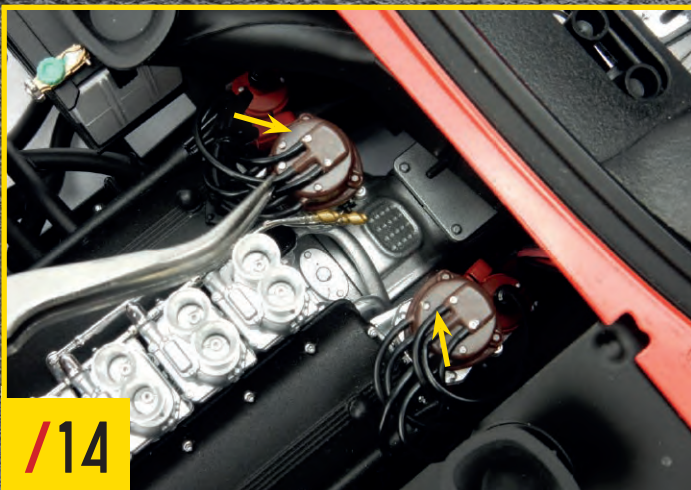
/12

同様に、91-5(左タイロッド)を取り付ける。



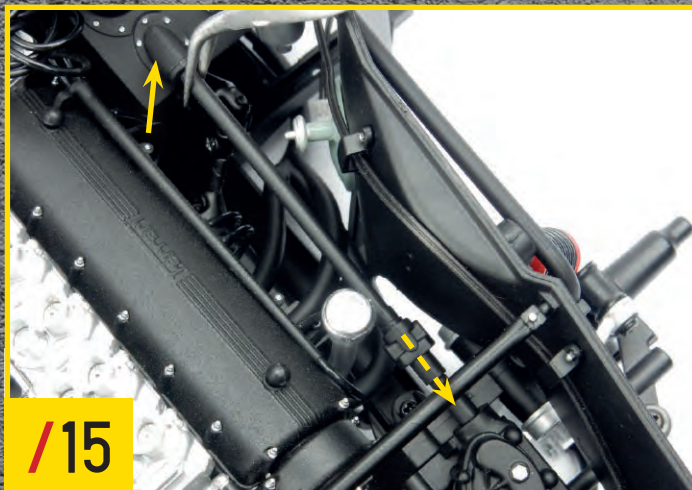
/13

STAGE88 で保管しておいた88-12(タブ)とネジKを使って、ステアリングコラムとステアリングシャフトを合わせる。



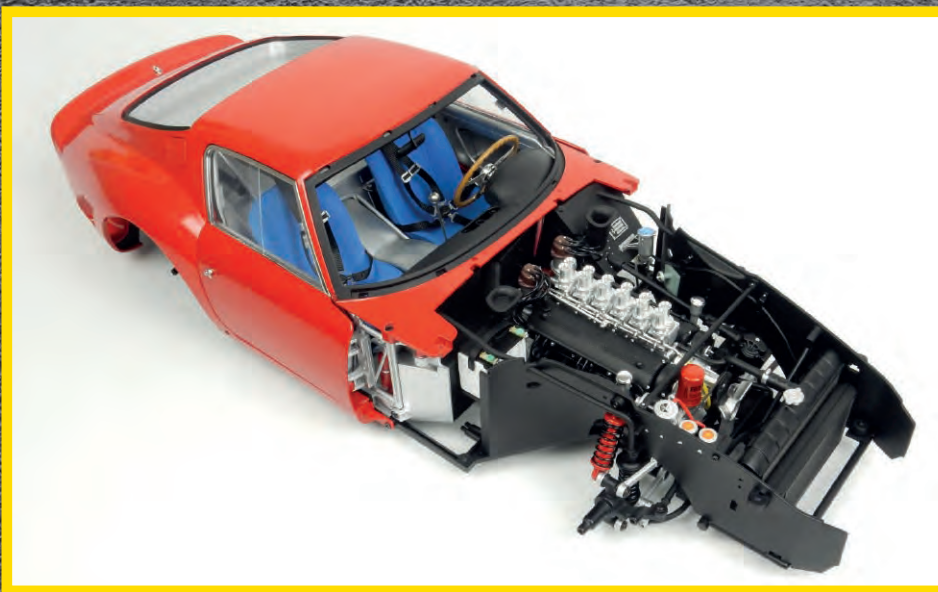
/14

イグニッションコイルのリード線のもう一方の端を、ディストリビューターキャップの中央スタッドにスライドさせる。



/15

写真のように92-5(ロッド)をはめて、ファイアーウォールとステアリングボックス(左前のサスペンションの一部)を接続する。



STAGE92 の完成

ここまで仕上がった。